



2020年11月10日

各位

会社名 株式会社 ラック
 代表者名 代表取締役社長 西本 逸郎
 (JASDAQ・コード番号：3857)
 問合せ先 常務執行役員 経営企画部長
 川本 成彦
 電話 03-6757-0107

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月12日に公表しました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期の連結業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	46,600	2,150	2,200	1,580	円 銭 61.82
今回修正予想（B）	44,000	1,510	1,620	1,000	円 銭 39.12
増減額（B-A）	△2,600	△640	△580	△580	—
増減率	△5.6%	△29.8%	△26.4%	△36.7%	—
（ご参考）前期連結実績 （2019年3月期）	40,466	1,767	1,869	1,091	円 銭 42.71

2. 修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、2020年5月12日に新型コロナウイルスの影響を考慮しない予想値として開示しておりましたが、足元の状況を踏まえ見直しいたします。セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）は、東京オリンピック・パラリンピックの延期をはじめとして、新型コロナウイルスの影響によるサイバーセキュリティ対策投資の延期や中止などがあり想定したほどの需要拡大が見込めない状況であること、またシステムインテグレーションサービス事業（SIS事業）は、デジタルトランスフォーメーションに向けたIT投資は堅調に推移しているものの、旅行業や人材派遣業など一部の業種でシステム開発の中止や延期が発生するとともに、新規ソリューションの立ち上がりが想定には届かないことなどから、売上高は前回予想を下回る見込みです。

利益面では、SSS事業において、前期までに人員不足による機会損失もあったことから、新卒者の確保や他部門からの配置転換などによる人員体制の更なる強化を進めたものの、体制に見合った売上拡大が見込めないことなどにより、営業利益、経常利益が前回予想を下回る見込みです。これに加え、コスト削減に向けた子会社の平河町・東陽町オフィスへの拠点集約費用として特別損失を計上する見込みであり、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を下回る見込みです。

以上